



平成31年は
暖冬???

積雪・凍結路での転倒に気をつけよう!

天気予報では
降雪量は平年
並みか少なめ



豪雪のため、交通量もまばらなセンター前
※今年1月12日正午ごろ撮影

今年1~2月の豪雪では、鉄道や道路などの交通機関がマヒし、市民生活に多大な影響を及ぼしました。

冬季特有の災害では、“転倒災害”が大部分を占め、特に玄関や屋外通路、駐車場で多く発生しています。

その転倒事故の半数は気温の低い深夜から早朝に発生しており、最高気温が氷点下の日には昼間時間帯にも多く発生しています。こまめに天気予報をチェックし、翌日が氷点下まで冷え込む前日には、十分に注意しましょう。



今年1~2月に 県内シルバーで発生した凍結による転倒事故

ちなみに、今年1~2月に県内で発生したシルバー会員の事故のうち、凍結路における転倒事故は、右の表のとおりです。

男性3名、女性4名の合計7名が負傷しました。

そのうち、5名が骨折しています。

※羽咋市の1名を含む。



No.	性別	年齢	事故日	事故の状況、ケガの内容
1	女	70	1月15日	建物の入口付近が凍結のため転倒。左手首を骨折。
2	男	80	1月16日	駐車場の清掃中に凍結のため転倒。右手首を打撲。
3	男	66	1月26日	駐車場管理の工作中に凍結のため転倒。腰を圧迫骨折。
4	女	73	1月27日	帰宅途中に凍結のため転倒。腕を骨折。
5	女	74	1月30日	ゴミ出し作業中に凍結のため転倒。左手首を骨折。
6	男	79	2月11日	自転車で帰宅途中に凍結のため転倒。右足首を骨折。
7	女	63	2月16日	仕事に行く途中、凍結のため転倒。右足首を捻挫。

転びにくい冬みちの歩き方

①小さな歩幅で歩きましょう

歩幅が大きいと足を高く上げなければならず、体の揺れが大きくなり、転倒しやすくなります。



②靴の裏全体を路面に付けて歩きましょう

雪みちを歩くときは、重心を前におき、できるだけ足の裏全体を路面につける気持ちで歩きましょう。



③その他

・転んだときの怪我の予防のために、帽子をかぶる、手袋をするなど、身につけるものを工夫する。

転びにくい歩き方を知っていても、両手をポケットに入れたまま歩いたり、急いで走ることは危険です。

また、年末年始は飲酒の機会が多いですが、アルコールのためバランス感覚が狂うことも気を付けなければなりません。

・屋根の雪が落ちてくることがあります。足元だけでなく頭上にも注意を払いましょう。特に暖かい日は要注意です。



手袋をしよう!

今年度の安全標語

これぐらい
過信と油断が
事故のもと
最上ナツ子さん作
(千里浜町)

連合会「佳作」受賞

期間
12月11日～20日

年末の交通安全県民運動実施中！

～ゆっくり走ろう 雪のふる里 北陸路～



師走も押し詰まり、寒い日が続きますが、現在、県下一斉の「年末の交通安全県民運動」を実施中です。

自動車は、買い物や通院、仕事など生活に欠かせない移動手段です。

その一方で、いつ被害者に、あるいは加害者になるか誰にもわかりません。

日頃から交通ルールを守り、いつも事故防止を意識して、安全運転を心がけましょう。



飲酒運転の根絶

センターでは、飲酒検知器を備え、酒のニオイがする方は検査しています。

飲酒検知器

年末から年始にかけて、お酒を飲む機会が増えます。飲酒運転の「悪質性・危険性」を認識し、飲酒運転を根絶しましょう。

過去、お酒のニオイをさせてセンターへ来た会員もいましたが、くれぐれも注意しましょう。

【罰則】

- ・酒酔い運転 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
- ・酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

運動の重点

- ◆ 高齢者の交通事故防止（北陸三県統一）
- ◆ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- ◆ 飲酒運転の根絶
- ◆ 冬道の安全走行の徹底
- ◆ すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

雪道での安全安心な運転のために

- 早めの冬用タイヤの交換
- スピードは控えめに
- 急のつく行為

- 急発進
 - 急ブレーキ
 - 急ハンドル
- を避ける



時間にゆとりを持ち、車間距離を十分にとりましょう。

安全パトロール 現場より報告



安全・適正就業委員会では、7月から11月までの間、毎月2回、就業現場の安全パトロールを実施しました。

また、今年は例年にも増して猛暑であったため、事務局職員が不定期に安全パトロールを行い、ケガや事故防止、交通安全を呼びかけています。

安全パトロールの実施状況

31カ所

内訳	剪定	6カ所
	除草	20カ所
	その他	5カ所

今年度の事故発生状況

※平成30年12月18日現在

No.	事故発生日	事故区分	事故のあらまし
8	9月13日	傷害 (工作中)	フィルター清掃中に配管に太ももを強打。右膝半月板断裂で入院。現在、リハビリ通院中。
9	10月22日	傷害 (工作中)	パレットを運搬中に無理な姿勢となったため、足首を痛めた。すでに治癒。

今年度の発生件数は現在9件です。ちなみに前年度は11件でした。

緊急電話(夜間・休日専用)

至急！至急！

大ケガや
重大事故 **080-5854-4949**

※小さな事故やケガの場合は、従来通り
休み明けに事務局へ電話してください。

事務局
22-2700

編集 後記

年々厳しさを増す猛暑のため、熱中症事故が「シルバー保険」の対象外となつてすでに数年がたちます。そこで、当センターでは今年6月に、全シ協の「熱中症見舞金制度」に加入しました。事故がないことが一番です。

毎年、全国でシルバー会員が事故により命を落としています。残された遺族はもちろんです。一緒に仕事をしていた仲間の会員も辛い思いをしているそうです。自分自身の安全対策をしっかりとおこなうことが、一緒に働く仲間へのマナーだと思います。今年6月に能登地区のシルバー会員が剪定作業中に頭部を強打した事故では、現在も意識不明です。

今年も残りわずかとなりました。皆さんにとって来年が良い年でありますように。そして健康でご活躍されることを委員一同願っております。

安全・適正就業委員会 委員長 川浪和雄ほか委員一同